

所報の発刊にあたって

田川郡教育研究所 所長 平野 志津夫

田川郡教育研究所では、田川郡内外の様々な教育関係機関並びに田川郡の教職員の皆様のご協力により、研究・研修事業等を円滑に実施させていただいております。研究所を代表致しまして、心よりお礼を申し上げます。本年度も「教職員の資質能力の育成」「児童・生徒の学力向上」を図るための研修を実施するとともに教育の今日的課題の解決に向け、各学校や教職員の皆さんの要請に応えうる研究所を目指し所員一同努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

就任の挨拶

田川郡教育研究所 副所長兼幹事

大任町立今任小学校 校長 白石 毅

本年度、僭越ながら本研究所の副所長を拝命いたしました今任小学校の白石です。私も若年の頃から鍛え育てていただいた田川郡教育研究所。田川郡の教育の発展、教員の人材育成のために、微力ながら一生懸命努めさせていただき所存です。教員若年化の本格的到来を控え、これから正念場を迎える筑豊地区、そして田川郡の教育界。教育研究所の使命をひしひしと感じています。本年度も教育研究所へのご理解・ご協力の程を何卒よろしくお願い致します。

就任の挨拶

田川郡教育研究所 副所長

赤村立赤中学校 校長 奥 浩幸

本年度、本研究所の副所長を拝命いたしました赤中学校の奥です。微力ではありますが、これまでの経験を生かし、田川郡の教育発展に力を尽くしてまいりたいと思います。さて、国は本年度中に中央教育審議会答申をとりまとめ、県では学校教育振興プランが策定されました。本研究所では、国や県の動向を見据え、田川郡小中学校の課題である人材育成に資する取組を展開することとしております。今後とも研究所へのご支援とご協力をお願いします。

平成28年度 教科等部会 《研究員並びに担当校長》

[敬称略]

小 学 校			中 学 校		
教科等名	研究員名(学校名)	担当校長名(学校名)	教科等名	研究員名(学校名)	担当校長名(学校名)
国語	國本 裕司(糸田)	船瀬 安仁(弁城)	国語(書写)	犬丸 成美(鷹峰)	村上きぬよ(糸田)
社会	牟田 佳史(川崎東)	高上 克也(添田)	社会	木村 誠治(池尻)	三賀山 宏(香春)
算数	坂本 真一(落合)	辻 眞作(勾金)	数学	岡崎 龍(方城)	堀川 浩昭(赤池)
理科	植 聡広(今任)	縄田 和之(金田)	理科	白石 智(赤池)	坂本 和紀(鷹峰)
生活・総合	角谷 朋恵(池尻)	中川 真一(真木)	音楽	高柳 麻巳(赤池)	友松 秀樹(方城)
音楽	帆足 梓(採銅所)	渡邊 伴子(上野)	美術	七俵 正秀(勾金)	伊藤 敬之(池尻)
図画工作	中野 浩子(池尻)	金子 祥二(大任)	保健体育	佐々木 佳子(赤池)	川浪 修司(勾金)
家庭	原 朋美(上野)	縄田 房枝(香春)	技術・家庭	長畑 理恵(川崎)	縄田 哲也(川崎)
体育	林 健二(川崎)	石堂 昌彦(糸田)	英語	中西 由恵(大任)	奥 浩幸(赤)
道徳	木下 直哉(中津原)	小峠 英人(中津原)	道徳	山本 秀信(香春)	栗林 秀幸(大任)
外国語活動	山内 淑子(赤)	森 隆子(池尻)	総合的な学習	岡本 朋子(糸田)	白石 俊幸(金田)
特別活動	柳井 文陽(川崎東)	井上 憲治(市場)	特別活動	新貝 拓二(勾金)	堀川 浩昭(赤池)
特別支援教育	児玉 啓子(伊方)	吉松 信吾(中元寺)			

学力向上実践校の紹介【小学校】

学力向上を図るための取り組み

大任町立今任小学校

1. 学力向上を目指した授業づくり

(1) 主題研修の充実

- 研究主題に「確かな読みの力をつける国語科学習指導」を掲げ、国語科の説明的文章の「読むことの」学習を通して、書く活動や練り合う活動のあり方について究明していく。

(2) 活用力を育成するための授業づくり

- 自分の考えを書き、伝える能力向上のため、表現活動を意識した言語活動を取り入れる。
- 日常の授業に於いて、主眼を明確に持ち、「めあて」と「まとめ」に整合性がある構造的な板書を心がける。また、学習内容の定着を図るために、学習内容のふりかえりを行う。
- 児童の主体的な学習を推進するために、児童の目的意識を大切にしたい授業を行い、児童同士が学び合い、教え合う場を積極的に設定する。

(3) 教師の指導力向上のための取組

- ミドルリーダーの育成や若手教師の授業力向上に向けて、OJT（日常研修）の充実を図る。

2. 基礎学力定着のための取組

◎ 朝の活動や教科の時間等を活用し、指導方法工夫改善係が中心となって取組を推進していく。

◎ 複数の教師で指導に当たり、きめ細やかな指導を徹底する。

(1) 「Vタイム」（毎週木曜日 8:15～8:30実施） ※1年生は2学期からの実施

- 算数科における、基礎学力の定着を図る。
- 学習内容を單元ごとに振り返ることのできるプリント学習の実施。

(2) 「漢字テスト」（毎週金曜日 8:15～8:30実施）

- 現学年における既習漢字の習得率の向上を図る。 ※1年生は2学期からの実施
- 毎週宿題等で取り組んだ漢字テストの実施。
- 翌週、給食準備時間や昼休みに再テストを実施、習得できるまでの再テスト実施。

(3) 「マイマイタイム」（毎月第2週 1時間実施）

- 算数科における、前学年からの既習内容の定着を図る。
- 「1学期～前学年の復習」、「2学期～現学年の復習」、「3学期～学年のまとめ」、の算数プリントの実施。

(4) 「パワーアッププリント」（毎週金曜日 宿題）

- 国語科・算数科における既習内容の定着や家庭学習の習慣化を図る。
- 週明け月曜日に担任外で採点を行い、その日の内に書き直させることで、学習内容の定着を図る。

3. 家庭・地域との連携

(1) 町との連携

- 放課後に、学習習慣と基礎学力の定着を目的として、町教育委員会が町公民館において「おおう未来塾」を実施。

(2) 家庭との連携

- 家庭学習の充実を図るために、児童の家庭学習の様子を保護者が評価する「家庭学習がんばりカード」（家庭学習評価表）の取組を実施。

学力向上実践校の紹介【中学校】

学力向上を図るための取り組み

赤村立赤中学校

本年度学校づくりビジョン



(1) 学力向上の基盤となる生徒の基本的な生活習慣の確立【赤中3か条の徹底】

- ① **時を守り**：時間を守る。特に、チャイム席を徹底する。
 <目的>自分を律し、相手を尊重することで、信用される生徒を育てる。
- ② **場を清め**：学習や生活に適した環境に自分で整える。特に、清掃指導を徹底する。
 <目的>4つの心（気がつく心、きれいな心、謙虚な心、感謝の心）を育てる。
- ③ **礼を正す**：社会的自立の基礎となる挨拶、返事、服装や頭髪を正すことを徹底する。
 <目的>良好な人間関係を築き、場にふさわしい態度を育て、社会性を養う。

(2) 学校教育目標「考える生徒【確かな学力】」の育成に向けた取組

- ① 「わかった」「できた」を実感し、思考する授業の工夫（学んだ力、学ぼうとする力）
 - ・少人数によるきめ細かな指導（村費講師等の活用によるTT・習熟度別による分割）
 - ・視聴覚機器の積極的活用（実物投影機・教室設置モニター・電子黒板等の活用）
- ② 学習習慣、学習規律が確立された授業の実践（学ぶ力）
 - ・自学ノート・漢字・英語マラソン等による家庭学習の徹底
 - ・身構え（姿勢）、心構え（態度）、物構え（準備）を全教科で共通指導
- ③ 小中一貫教育の推進による教職員の指導力の向上
 - ・「問いづくり、思考づくり、価値づくり」を着眼点とした合同研修会・公開授業研の実施
 - ・小中一貫の「学び方規準表」の日常的な見直しによる授業改善の推進
 - ・初任者研修を核とした全教職員の専門性を活かした組織的人材育成の実施

平成28年度 田川郡内各小・中学校の研究主題

学校名	研究主題
香春小学校	主体的に学び、自分の考えを表現する算数科学習指導の研究
勾金小学校	どの子も「わかる」「できる」「身につく」算数科の学習指導の研究
中津原小学校	読む力を育てる国語科学習指導法の研究
採銅所小学校	道徳的実践力を育てる指導法の研究
赤小学校	考える力を育てる算数科・国語科学習指導
大任小学校	豊かに読む力を高める国語科学習指導
今任小学校	確かな読みの力をつける国語科学習指導
津野小学校	自ら気づき、解決しようとする児童の育成
添田小学校	思考を深める子どもを育てる学習指導
中元寺小学校	考える力を育てる国語科学習指導の在り方
落合小学校	自分の考えを持ち、表現出来る児童の育成
真木小学校	基礎基本の定着を図り、自ら考え学ぶ学習指導
川崎小学校	言語ツールを活用しながら、自分の考えを高める子どもを育てる授業
川崎東小学校	確かな学力を身につけた子どもを育てる学習指導
真崎小学校	自ら考え、表現し合う子どもの育成
池尻小学校	学ぶことを楽しみにし、よく聞き話し、よくかき読み、よく考える児童の育成
糸田小学校	確かな学力を育てる授業改革
金田小学校	自尊感情を高める授業作り
伊方小学校	考えることを楽しみ、生き生きと表現する力を育てる算数科学習指導法の研究
弁城小学校	学び合う子どもを育てる国語科学習指導
上野小学校	確かな読みを育む国語科学習指導
市場小学校	体力向上に向けて主体的に取り組む子どもの育成
香春中学校	「学び合い」を取り入れた授業方法の工夫
勾金中学校	学習意欲をもって、自ら学び、みんなが「わかった」と言える授業づくりを目指して
赤中学校	考える力を育てる小中一貫の授業づくり
大任中学校	人間としての生き方を問い続ける生徒の育成
添田中学校	生徒が主体的・協働的に学習に取り組み、確かな学力を身につける授業方法の研究
川崎中学校	確かな学力を身につけ、心豊かにたくましく生きる生徒の育成
鷹峰中学校	自己実現のための基礎・基本を身に付けた生徒の育成
池尻中学校	生徒一人一人が生きた学力を意欲的、主体的に身につける学習指導のあり方
糸田中学校	生徒にわかる・できる・楽しいを感じさせる授業づくり
金田中学校	生徒の集中力を高める、見通しをもたせた授業方法の工夫改善
方城中学校	基礎基本の定着を図り思考力、判断力、表現力を育む教科の本質に立つ授業づくり
赤池中学校	生徒一人ひとりが「わかる・できる」を実感できる授業づくり

平成28年度研修員の紹介

[敬称略]

No.	職名	氏名	所属校	教科等	研究主題
1	教諭	鍋藤 杏佐子	池尻小学校	算数	算数的な思考力・表現力を育てる算数科学習指導の研究 ～第6学年の量と測定における算数的活動の工夫を通して～
2	教諭	品川 佑斗	糸田小学校	特活	自主的に話合う子どもを育てる第3学年学級活動の指導 ～ピーピングを活用したふり返り活動を通して～
3	教諭	大鶴 裕司	勾金中学校	社会	地理的分野における表現力を高める社会科学習指導法の研究 ～「学び合い」活動を通して～
4	教諭	辻 明歩	糸田中学校	英語	自己表現能力を養う英語科学習指導法の研究 ～読んだことについて自分の考えを書く活動を中心とした 学習指導における「My Opinion Sheet」の活用を通して～

長期研修を終えて

福智町立弁城小学校 教諭 楠木 文太郎

平成27年度、福岡教育大学附属小倉小学校に国語科の長期派遣研修員として一年間の研修をさせていただきました。この一年間、多くのことを学ばせていただきました。その中でも特に、「子どもの姿に学ぶ」ということが心に残っています。子どもがどのような課題をもち、何を学びたいのか、そして、どのような手立てを講じれば、子どもの学びが成立し、力が高まるのかなど、すべてが子どもの姿から出発するということです。当たり前のことのようにですが、改めて、その大切さを学んだ一年間でした。今後は、この学びを生かし、田川の子どもに還元していきたいと考えます。貴重な研修の機会を与えてくださった関係の皆様方に、心より感謝を申し上げます。

赤村立赤小学校 教諭 山内 淑子

昨年度、福岡県教育センターの教育指導部教科教育班に長期派遣研修員として、一年間、研修をさせていただきました。主題研究では、小学校外国語活動におけるコミュニケーションの研究を行いました。グローバル化が進展する社会の中、外国語を使って、相手の考えを理解した上で自分の考えを伝えることができる児童を育成していくにはどのような授業を行えばよいか、じっくり考える機会をいただきました。確かな理論に裏付けられた厳しく温かいご指導をいただき、唯々勉強になりました。この研修で学んだことを学校現場で生かせるように、今後も自己研鑽に努めていきたいと思っております。貴重な研修の機会を与えてくださった関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

大任町立大任中学校 教諭 中西 由恵

昨年度、長期派遣研修員として福岡県教育センター教育指導部教科教育班で研修をさせていただきました。一年間の研究で、教科の本質とは何か、また、研究を支える論拠をもち、理論と実践を往復することの大切さなど、多くの厳しくも温かい御指導を受け学ぶことができました。県内で厳しいと言われている筑豊の子ども達にこそ、理論をもとにした実践を行えば、子どもの「学び」が変わると実感しました。今回の研修で、教師としての自分を見つめ直し、もっと学びたいと思えたことは大きな成果だと思います。今後は、貴重な研修の機会を与えて頂いた多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、さらに学ぶ姿勢を大切にしていきたいと思っております。

平成28年度 教育実践発表会のお知らせ

◆田川郡教育研究所 教育実践発表会並びに教育論文表彰式・発表会

- ◇主催：田川郡教育研究所
- ◇日時：平成28年8月3日（水） 14：30～16：40
- ◇会場：糸田町文化会館（1階）ホール

◆筑豊地区教育研究所連絡協議会教育実践発表会

- ◇主催：筑豊地区教育研究所連絡協議会
- ◇主管：嘉麻市教育センター
- ◇日時：平成28年8月23日（火） 13：30～16：50
- ◇会場：夢サイトかほ

◆福岡県教育研究所連盟研究発表協議会

- ◇主催：福岡県教育研究所連盟、筑豊・京築地区教育研究所等連絡協議会
- ◇主管：行橋・京都地区教育研究所
- ◇日時：平成28年11月16日（水） 13：00～16：55
- ◇会場：福岡県教育センター

食育だより

赤 村 立 赤 小 学 校
栄養教諭 鍋 藤 君 江

田川郡学校給食会では、努力目標を「給食の円滑な運営と内容向上及び食育の推進を図るため、食に関する指導や研究研修の充実に努め、衛生管理に配慮しみんなに喜ばれる給食を目指すとともに、心身の健康の増進に努める。」とし、今年度計画している主な事業は次の通りです。まず、田川郡学校給食会研究指定・委嘱を平成28～29年度の2年間川崎町立池尻中学校にお願いしています。来年度は発表会を予定しております。次に調理員対象の研修会は7月26日午前「学校給食における衛生管理の徹底」と「好ましい人間関係作りについて」、午後から調理講習会を行います。講師は川崎町にあります「キッチン TAKASE オーナーシェフ高瀬努氏」です。『シェフから学ぶ学校給食』をテーマに、より一層おいしい給食作りに取り組みたいと思っています。最後に学校給食担当者対象の研修会は、7月28日午後より『子どもの生活リズムと健康』について福岡女子大学の沖田千代先生からご講演いただきます。平成27年度の調査結果から、「朝食を毎日食べる」児童生徒を福岡県と筑豊地区で比較すると、小学校では-2.1%、中学校では-4.6%です。基本的な生活習慣の重要性や改善に向けての取組など、学校での実践の参考にしていただきたいと思います。たくさんのお参加をお待ちしています。

養護だより

福 智 町 立 赤 池 中 学 校
養護教諭 日 高 寿 代

田川郡学校保健会では、第1回の研修会として6月30日の15時から香春町民センターにて講演会を行いました。昨年度に引き続き、北九州市総合療育センター精神科外来に勤務されています下村泰斗先生を招聘し『発達障がい』について具体的な事例をもとにご講話いただきました。

2学期には研修視察、3学期には第2回研修会として講演会を計画しています。

また、田川郡学校保健会養護研修会では4つの部会ごとに以下のような研修テーマを設定し、定期的な研修を継続して実施しています。

- 〈一部〉 養護教諭の職務の見直し
- 〈二部〉 養護教諭の職務の見直しとまとめ
- 〈三部〉 関係機関との連携
- 〈四部〉 関係機関との連携

今年度も昨年度の実践の上に研修を重ね、さらなる資質の向上に努めていきたいと思っております。

田川郡教育研究所

[所在地] 〒 825-0002
田川市伊田松原通り 3292-2 田川総合庁舎 筑豊教育事務所田川駐在
[TEL・FAX] 0947-47-1081
[E-mail] tagawa-lab@fukuoka.email.ne.jp
[URL] http://www.tagawa-lab.sakura.ne.jp/

所 長	平野 志津夫	副所長	奥 浩幸 (赤 中学校 校長)
副所長	白石 毅 (今任小学校 校長)	書 記	有田 真理子
幹 事	白石 毅 (今任小学校 校長)	主任指導員	柴田 徹 (糸田中学校 教頭)
主任指導員	藤田 昭介 (糸田小学校 教頭)	指導員	宮成 努 (香春小学校 主幹教諭)
指導員	神崎 育子 (真木小学校 主幹教諭)	指導員	桑城 直子 (方城中学校 主幹教諭)
指導員	長畑 理恵 (川崎中学校 主幹教諭)		